

染色体疾患・遺伝子疾患のある子どもの支援

運動発達や知的発達に課題のある子どもたちの背景には、様々な症候群や疾患が隠れていることがあります。近年のゲノム医学の進歩に伴い、保険収載される遺伝学的検査が増えたことで、染色体や遺伝子の変化による疾患は以前よりも身近なものとなりました。原因を明らかにすることは、子どもたちの特性を深く理解し、日常生活や療育、教育の場でより適切な関りを見つけることにつながります。一方で、子どもやご家庭によって必要な支援は様々です。医療・療育・教育・福祉の現場で働く皆様が、子どもたちの疾患特性を理解し、日々の支援に役立てていただけるよう、当センターでは定期的に遺伝講演会を開催しております。

令和8年 **10** 月 **24** 日（土） 13:30～16:30

ウインクあいち（愛知県産業労働センター）11階 1104会議室

対象 染色体及び遺伝子疾患を持つ子どもの支援に関わる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育福祉関係者など

プログラム

特性とともに ～その子・その人の“じりつ”～

愛知県医療療育総合センター中央病院 子どものこころ科医長 加藤志保

発達やライフステージに合わせた遺伝性先天性疾患の子どもの支援

愛知県医療療育総合センター中央病院 遺伝診療科部長 稲葉美枝

染色体・遺伝性疾患があるお子さんに対する作業療法 2026 ～支援の実際について～

愛知県医療療育総合センター中央病院 リハビリテーション科長 作業療法士 小松則登

今回のテーマ

今回は、愛知県医療療育総合センター中央病院 子どものこころ科の加藤志保先生をお迎えし、「**障害を持つ子（人）のじりつ（自立・自律）**」をテーマにご講演いただきます。本テーマは、小児期にとどまらず、その先の長い人生を見据えて目の前の子どもたちと関わっていく上で、極めて重要な視点となります。皆様とともにこれからの支援のあり方を考える機会にしたいと考えております。

皆様へのお願い

今回も、お申込み時にいただいたアンケート内容の一部を、講演および質疑応答の中で取りあげる予定です。日常生活の中での気づきの点や疑問などを、ぜひお寄せください。ご関心のある多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

申込方法 参加ご希望の方は、二次元コードもしくは URL より申込フォームに移動し、事前アンケートにお答えの上、個人でお申込みください。

申込期限 9 月 30 日 (水)

<https://ttzk.graffer.jp/pref-aichi/smart-apply/apply-procedure-alias/1024>



定員 80 名

定員を超えた場合は 1 施設 1 名の参加とさせていただきます場合があります。事前アンケートで、染色体及び遺伝子疾患を持つ子どもの支援に関わっているとお答えの方を優先させていただきます。

申込者全員に受講選考結果をメールにて通知いたします。10 月 9 日 (金) までに通知がない場合は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

参加費 無料

お問い合わせ

〒480-0392 春日井市神屋町 713-8

愛知県医療療育総合センター 療育支援センター

地域支援課 医療的ケア児支援グループ (担当 平野)

TEL 0568-88-0811 (内線 8106)

